

令和元年度 幼稚園の人材確保支援事業（概要版）

（一社）新潟県私立幼稚園・認定こども園協会

背景・課題

①新潟県の幼稚園教諭養成専門課程のある大学・短期大学の状況

4年制大学：2校定員約60名、短期大学：2校定員約200名→県内養成校出身者の母数が少ない

②新潟県の地理的問題

海岸線が330kmあり、県内大学に通学する場合でも下宿が必要となる学生が大半→大学(短期大学)進学希望者は県外、特に関東圏へ進学

⇒**県内外問わず新規採用は厳しい**

③幼児教育の質の向上による幼稚園教諭の定着

キャリアパス制度を効果的に運用することで資質・能力を明確化し、WEB図の作成により教諭各人が課題を見出し解決する過程を職場全体でモニタリング

⇒**離職防止・定着促進につなげる（＝質の高い幼児教育の実践）**

主な取り組み内容	成果
①幼稚園・こども園就職フェアの開催【新規採用の促進・離職者の再就職促進】 全体説明会・プロモーションビデオ放映 ・現任教諭によるトークセッション ・ブース出展園による園情報提供タイム 保育のお仕事ワークショップ 再就職者向けセミナー 個別相談会(園ブースの設置)	・実施期日の工夫：夏休み期間(7月) ・県内教員養成校との連携：懇談会を実施し、学生(学年不問)の参加を要請 ・開催市外の養成校には会場と養成校間の往復無料送迎バスを手配 ・新潟県関係部局への協力依頼：県外学生、離職者(UIターン含)に向けた情報提供(新潟県HPへのリンク(フェア、当会HP内求人情報)、チラシ配布) ◎県内並びに県外ともにフェア参加学生数が昨年度の参加者数より増えた ◎加盟園全体と比較した場合、ブースを出展した園における採用割合が高かった
②研修会の実施(2回)【離職防止・定着促進(働き方改革)】 (1)テーマ「保育の質向上のためのキャリアパスの運用について」 講演 実例報告 グループ演習の実施 講師によるまとめ (2)テーマ「園における働き方改革を考える」 講演 グループワーク 発表 講師によるまとめ	(1)・経験年数や役職に応じて求められる資質・能力を明確化する仕組み作り(キャリアパス)について、講師より実例を交え講演 ・実際にキャリアパスを運用している園により実例を報告 ・キャリアパスの下位項目作りを行うグループ演習の実施 ◎参加者の9割以上が離職防止・定着促進を図る取り組みに役立つと研修後のアンケートにて回答し、キャリアパスの必要性が理解された (2)・講師選定の工夫：保育現場経験のある社会保険労務士を選定 ・講演内容の工夫：就業規則や業務内容等の具体的な改善点や対策についての講演。各園の労働環境の見直しと再整備の検討の場としたグループワーク実施 発表により参加者の情報共有をはかる ◎参加者全員が労務管理・就業規則等を改めるきっかけになったと研修後のアンケートにて回答、加盟各園における改善につながった
③キャリアパス導入園への運用支援【離職防止・定着促進(働き方改革)】 協力園2園において園の実情に合わせた講師による運用支援を実施 キャリアパス(スモールステップ)項目作り WEB図の作成	・各協力園において講師による講演、ワークショップ等の実施 ・キャリアパス(スモールステップ含む)に加え、WEB図を用いたモニタリングを実施 ◎教諭各人の成長がはっきりと示される⇒自己肯定感につながり仕事のやりがい向上 ◎情報共有による職場の連帯感の醸成⇒長く職場に定着